

DIALOG(R) File 351:Derwent. WPI
(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

012647977 **Image available**

WPI Acc No: 1999-454082/*199938*

XRPX Acc No: N99-340116

Liquid crystal display monitor for personal computer - has magnetic disk drive and optical disc drive which are integrated with liquid crystal display monitor body which is separated from main body of personal computer

Patent Assignee: TAKASHIMA T (TAKA-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 11190978	A	19990713	JP 97370315	A	19971225	199938 B

Priority Applications (No Type Date): JP 97370315 A 19971225

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 11190978	A		3 G09F-009/35	

Abstract (Basic): JP 11190978 A

NOVELTY - A magnetic disk drive and an optical disc drive are integrated with the liquid crystal display monitor which is separated from the main body of the personal computer. The disk takeoff (3,4) of each disk drive are provided on the side of the body (2) of the liquid crystal display monitor.

USE - For personal computer.

ADVANTAGE - Saves desk space while ensuring easy insertion and removal of recording disk since only the liquid crystal display monitor and a keyboard are installed on the desk while the personal computer main body is installed under the desk. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a perspective diagram of the liquid crystal display monitor. (2) Liquid crystal display monitor body; (3,4) Disk takeoff.

Dwg.1/2

Title Terms: LIQUID; CRYSTAL; DISPLAY; MONITOR; PERSON; COMPUTER; MAGNETIC; DISC; DRIVE; OPTICAL; DISC; DRIVE; INTEGRATE; LIQUID; CRYSTAL; DISPLAY; MONITOR; BODY; SEPARATE; MAIN; BODY; PERSON; COMPUTER

Derwent Class: P85; T01

International Patent Class (Main): G09F-009/35

International Patent Class (Additional): G06F-001/16

File Segment: EPI; EngPI

Manual Codes (EPI/S-X): T01-L

(18) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-190978

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月13日

(51) Int.Cl.⁵

G 0 9 F 9/35

// G 0 6 F 1/16

識別記号

3 0 2

F I

G 0 9 F 9/35

G 0 6 F 1/00

3 0 2

3 1 2 W

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-370315

(22) 出願日 平成 9 年 (1997) 12 月 25 日

(71) 出願人 598018063

高嶋 利彰

千葉県千葉市花見川区柏井町1672番地の21

(72) 発明者 高嶋 利彰

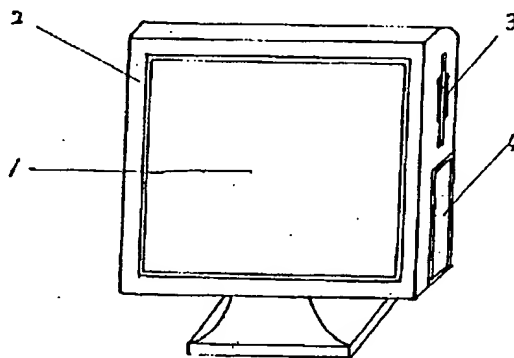
千葉県千葉市花見川区柏井町1672番地の21

(54) 【発明の名称】 液晶表示モニタ

(57) 【要約】

【目的】 パーソナル・コンピュータの使用に際して、机の上の省スペース化のためにパーソナル・コンピュータ本体を机の下に置いた場合に、記録媒体ディスクのディスク駆動装置への挿入及び取り出しにまつわる容易な操作性を実現する。

【構成】 パーソナル・コンピュータ本体から分離している液晶表示モニタにおいて、液晶表示モニタの筐体 (2) の裏側の内部に磁気ディスク駆動装置と光学ディスク駆動装置を設けて、各々の該ディスク駆動装置のディスク取り出し口 (3)、(4) を筐体 (2) の側面に設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 パーソナル・コンピュータ本体から分離した液晶表示モニタにおいて、挿入及び取り出しが可能な記録媒体ディスクのディスク駆動装置を一体化した液晶表示モニタ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、パーソナル・コンピュータ本体から分離し、かつパーソナル・コンピュータ本体と接続することでパーソナル・コンピュータ用の液晶表示モニタとして使用可能な液晶表示モニタに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のパーソナル・コンピュータ本体から分離した液晶表示モニタにおいては、挿入及び取り出しが可能なパーソナル・コンピュータ用の記録媒体ディスクのディスク駆動装置が一体化しておらず、該ディスク駆動装置はパーソナル・コンピュータ本体と一体化していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来、液晶表示モニタがパーソナル・コンピュータ本体から分離しているパーソナル・コンピュータにおいては、パーソナル・コンピュータ本体を机の下に設置することによって、机の上に液晶表示モニタとキーボードのみを設置して机の上の省スペース化を図ることができた。しかしながら、その際にパーソナル・コンピュータ本体とディスク駆動装置が一体化していたため、記録媒体ディスクの挿入及び取り出しにあたって、その都度机の下に手を伸ばさなければならず、記録媒体ディスクの挿入と取り出しの操作が不便であるという問題があった。本発明は、パーソナル・コンピュータの使用に際して、パーソナル・コンピュータ本体を机の下に設置することによって、机の上には液晶表示モニタとキーボードのみを設置して机の上の省スペース化を図りながら、かつ記録媒体ディスクの挿入及び取り出しにまつわる容易な操作性を実現するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明のパーソナル・コンピュータ本体から分離した液晶表示モニタは、挿入及び取り出しが可能な記録媒体ディスクのディスク駆動装置を液晶表示モニタに一体化した構成を有する。上記液晶表示モニタに該ディス

ク駆動装置を一体化する位置は、液晶表示モニタの筐体ないし脚部の適当な箇所とすることが可能であるが、ディスクの取り出し口は挿入及び取り出しの操作がしやすい液晶表示モニタの筐体ないし脚部の前面、または側面が適当である。

【0005】

【作用】 上記のように構成された液晶表示モニタは、パーソナル・コンピュータの使用に際してパーソナル・コンピュータ本体を机の下に設置して机の上の省スペース化を図りながら、かつ机の上の操作によって記録媒体ディスクの挿入及び取り出しが容易に行える。

【0006】

【実施例1】 実施例1について図面を参照して説明すると、図1において、液晶表示モニタの筐体(2)の裏側の内部に磁気ディスク駆動装置と光学ディスク駆動装置を設けて、各々のディスク駆動装置のディスク取り出し口(3)、(4)を筐体(2)の側面に設ける。

【0007】

【実施例2】 実施例2について図面を参照して説明すると、図2において、磁気ディスク駆動装置と光学ディスク駆動装置を、液晶表示モニタの画面(5)の下側、ならびに液晶表示モニタの脚部において装着する。その際、各々の記録媒体ディスクの取り出し口(7)、(8)は液晶表示モニタの前面の下部に設ける。

【0008】

【発明の効果】 記録媒体ディスクの活用を伴うパーソナル・コンピュータの使用にあたって、パーソナル・コンピュータ本体を机の下に設置することによって、机の上の省スペース化を図りながら、かつ手が容易に届く机の上の操作によって記録媒体ディスクの挿入及び取り出しが可能となる。これによって、机の上に液晶表示モニタとキーボードのみを設置させることによる机の上の省スペース化と、記録媒体ディスクの挿入及び取り出しにまつわる容易な操作性が実現する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例1の液晶表示モニタの斜視図

【図2】 実施例2の液晶表示モニタの斜視図

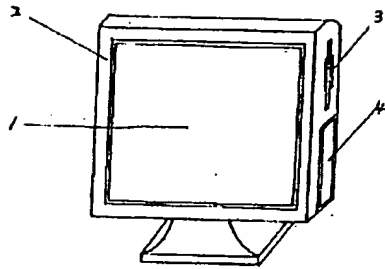
【符号の説明】

- 1、5 画面
- 2、6 筐体
- 3、7 磁気ディスクの取り出し口
- 4、8 光学ディスクの取り出し口

(3)

特開平11-190978

【図1】



【図2】

